

人が集まる家 ～土間つながり暮らしと地域～



●コンセプト

福井県池田町の豊かな自然と地域のつながりに着目し、人が自然と集まり、交流が生まれる住まいを計画した。住まいの中心には土間を配置し、ダイニング・キッチン・リビングを一体化することで、家族が食事をし、来客を迎え、地域の人が気軽に立ち寄れる暮らしの場とした。

●敷地

敷地周辺には小学校や中学校があり、子どもたちの声や地域の人の交流が感じられる住まいや環境である。この立地を生かし、家族だけでなく地域の人も自然と集まり、つながりが生まれる住まいを計画した。



●池田大祭

池田大祭は、池田町の須波阿須疑神社で毎年6月9日から11日にかけて開催される例大祭であり、地域を代表する伝統行事である。神楽や子ども神楽、海宴の舞などの神事や催しが行われ、地域住民が世代を超えて参加することで、古くから受け継がれてきた文化や伝統が継承されている。祭りの期間中は、神社やその周辺に多くの人々が集まり、地域全体が活気に包まれるとともに、住民同士や来訪者との交流を生み出す重要な機会となっている。



●水海の田楽能舞

水海の田楽能舞は、池田町水海地区に伝わる伝統芸能であり、毎年2月15日に稲井神社で奉納される。田楽と能の要素をあわせ持つ全国的にも貴重な民俗芸能で、約60年以上にわたり地域住民によって受け継がれてきた。五穀豊饒や無病息災を祈願して演じられ、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。現在も地域の人が保存・継承に携わり、世代を超えて伝統文化を受け継ぐとともに、地域内外から多くの人々が訪れる池田町を代表する伝統行事となっている。



●福井県池田町

池田町では、伝統芸能や祭りが受け継がれ、地域住民が世代を超えて集い、交流する文化が今も暮らしの中に息づいている。また、町域の約9割を森林が占める豊かな自然環境の中で、林業や農業を基盤とした生活が営まれ、人と自然、人と人の距離が近い地域性が形成されている。こうした地域行事や日々の営みは、住民同士の絆やつながりを生み出し、地域コミュニティを支える重要な役割を担っている。

私は、この「人が自然と集まり、交流が生まれる風景」を池田町らしきとして捉え、その関係性を祭りなどの非日常だけでなく、日常の暮らしの中にも取り込みたいと考えた。人と人が緩やかにつながり、自然との関係も感じられる住まいを提案する。



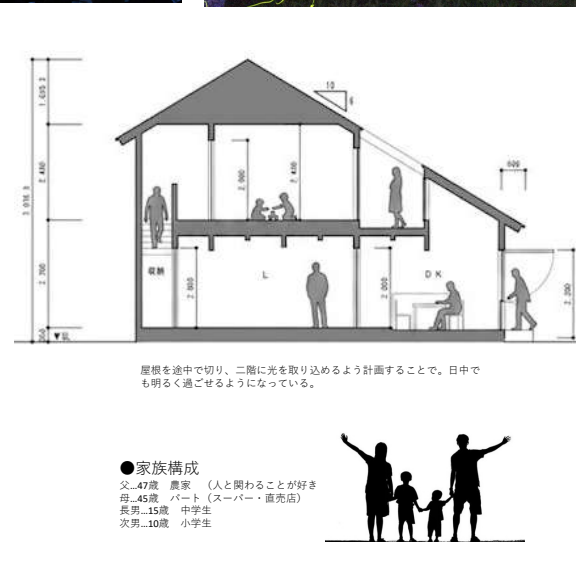
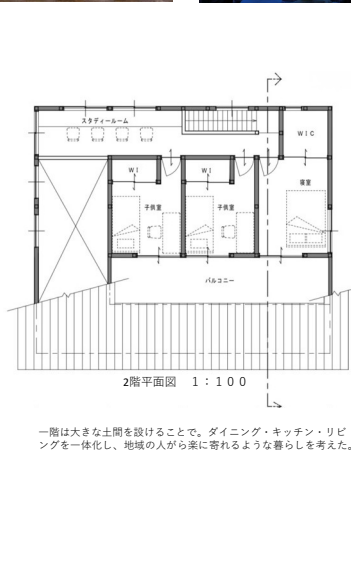
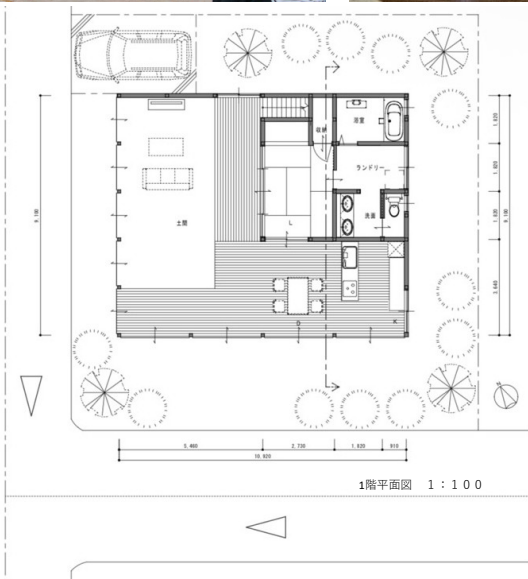
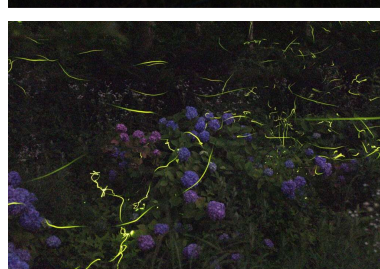
●池田の能面まつり

池田の能面まつりは、池田町の須波阿須疑神社で毎年2月6日に開催される伝統行事である。神社に伝わる歴史ある能面が一般公開されるほか、製作や無病息災を願う神事や小豆粥の振る舞いなどが行われる。地域住民が中心となって受け継がれてきた祭りであり、池田町の歴史や文化に触れる機会として親しまれている。また、地域内外から訪れる人々が集い、伝統文化を共有しながら交流を深める場としての役割も担っている。



●花見はたる祭り

花見はたる祭りは、池田町の豊かな自然環境を活かして初夏に開催される地域イベントである。ガンジボタルやヘイケボタルが舞う幻想的な風景を楽しむほか、地元特産品の販売や飲食ブース、各種催しが行われ、多くの来場者でにぎわう。地域住民と来訪者が自然を共有しながら交流を深める場となっており、池田町の自然や暮らしの魅力を発信するとともに、地域の活性化にも寄与するイベントとして親しまれている。



屋根を途中で切り、二階に光を取り込めるよう計画することで、日中でも明るく過ごせるようになっている。

●家族構成

父...47歳 農家 (人と関わることが好き)
母...45歳 パート (スーパー・販売店)
長男...15歳 中学生
次男...10歳 小学生

